



2018 十勝ロードレースシリーズ 第5戦

250Challenge 2時間耐久レース

MFJ承認

特別規則書

●主催 十勝スピードウェイクラブ(TOSC)



1. 競技会名称
2018十勝ロードレースシリーズ 第5戦
- 250Challenge 2時間耐久レース -
2. 開催クラス
開催クラスは、下記の通り分けられる。

1クラス (1C)	JP250/CBR250RR	参加車両に JP250 もしくは CBR250RR Dream Cup 車両を含むチーム
2クラス (2C)	DUNLOP Street250	1C 車両を含まず、十勝ロードレース Street250 規定の車両が含まれるチーム
3クラス (3C)	CBR250R DREAM CUP	1C・2C 車両を含まず、CBR250R Dream Cup 車両のみのチーム

※参加申込時に下記の参加方法のどちらかを選択し申し込むこと。

- ・ 1台で参加[給油グループ]
- ・ 2～3台で参加[マイバイク・ポンダーリレーグループ]

3. 参加料
 - 1) 1台で参加[給油グループ]
1チーム (ライダー2名) : 18,000円
ライダー1名追加 : 5,000円
 - 2) 2～3台で参加[マイバイク・ポンダーリレーグループ]
登録車両2～3台+ライダー2～3名 25,000円
 - 3) ライダー2名～3名とし、1名での参加は出来ない。
- 注1) 各クラスの参加申し込み台数が3台未満の場合は、そのクラスは廃止され、申し込み済のチームは自動的に上のクラスへ移行する場合がある。
- 注2) 参加申し込み期間終了時点で、申し込み台数が10台以下(1～10台)の場合は、2時間耐久レースの開催を中止する場合がある。
4. 参加資格
 - 1) ライダー
当該年度有効なMFJロードレース競技ライセンス (ジュニア・フレッシュマン・国内・国際) 所持者。十勝スピードウェイの走行経験が2時間以上ある方が望ましい。
満20歳未満のライダーは、申込書に親権者の署名と捺印が必要とする。
 - 2) ピットクルー
当該年度有効なMFJピットクルーライセンス所持者が望ましいが、MFJ競技ライセンスおよび十勝スピードウェイサーキットライセンス所持者、十勝スピードウェイスポーツ安全保険加入者も可能とする。
最低1名、4名まで登録可能 (その中から1名をチーム監督として登録すること)。要員不足の場合、エントリーは受けられない。



開催日程 10月14日 (日)

※十勝ロードレースシリーズの規則は、この他に特別規則書・競技規則書・技術仕様(車両規則)で構成されています。

※ピットクルー以外は、ピットロード作業エリア・サインエリアに立ち入りことは出来ません。

5. 参加申し込み期間
9月21日 (金) ~10月1日 (月) 期間厳守 (※切日到着分有効。)
6. ライダーの装備
2018 十勝ロードレースシリーズ特別競技規則書に準ずる。
7. 車両規定
2018 十勝ロードレースシリーズ技術仕様(車両規則)に準ずる。
8. 公式予選
 - 1) レースに出場するすべてのチームは、公式予選に参加し、決勝レース出場資格を取得しなければならない。
 - 2) 公式予選は、タイムトライアル方式とする。
9. 耐久ルール

1. 登録車両1台[給油]で参加する場合

 - 1) 給油作業・給油装置
燃料補給中の他の一切の作業は安全確保の為、禁止される。
 - ①給油は、10%以下の鉄製の携行缶を使い行う事。(安全の為、1回の給油は10%以下とする。)
 - ②給油を行う場合は、1分間の停止義務を設ける。
 - ③給油の手順は、エンジンストップ→リアスタンドをかける→ライダー降車→給油作業開始とし、停止義務時間の開始はライダーが降車してから1分間とする。ライダーが車両に跨ったままでの給油作業は禁止とする。
 - ④給油装置は、10%以下の金属製タンクからの落差式のみ使用でき、プラスチック製タンク・オイルジョッキ・ポリ容器などの使用は禁止とする。
 - ⑤各チームは、必ず1本以上の消火器 (使用期限内で容量1.8kg以上) を準備すること。給油中はピットクルー1名が消火器を携帯し、待機すること。
 - ⑥給油担当者の服装は、安全のため長袖長ズボン (耐火服を推奨)、目の保護をするためゴーグルまたはフルフェイスヘルメット、革手袋 (耐火性のものを推奨) を着用すること。
 - ⑦給油中にガソリンをこぼした場合は、ペナルティの対象となる。また、こぼした場合は、ウエス等で拭き安全を確認してからコースインすること。
 - ⑧燃料タンクは、キャップを含めメーカー出荷時純正品とし加工、ビックタンク等への交換は認められない。但し、給油口内の金属(ノズルガイド)の切除、および純正品と同程度の性能を持つキャップの交換は認める。
 - ※切除・キャップ交換時は、公式車検時に技術委員へ申し出る事。
 - ⑨給油回数の規定はない。

2. 登録車両2～3台[マイバイク・ポンダーリレー]で参加する場合

- 1) ライダーとマシンの組み合わせ登録
参加申込時に、ライダーとマシンの組み合わせを申込用紙に記載し、公式予選・決勝中は、その組み合わせを変更してはならない。マシントラブル等により、やむをえず組み合わせを変更する場合は、競技監督の許可を得ることとする。変更した場合は、ペナルティが科せられる。
- 2) ライダー・マシン交代方法
 - ①マシン交代時（トランスポンダー積み替え時）は、ピットアウト待機車両は、エンジンを止めた状態でスタンドをかけ、ピットロード作業エリアに待機。（ライダーが車両に跨っていない状態）。ピットイン車両を待機車両の横に停車。エンジンストップ→リアスタンドをかける→ライダー降車→積み替え作業開始とする。
- 3) タイヤ規定
 - ①登録車両1台につき使用できるタイヤは、1セット（フロント・リア共に1本）のみとする。ただし、天候を理由にタイヤ交換する場合は、技術委員長の許可を得てから交換すること。ウェット宣言された場合は、この規定は無効とする。
- 4) ピットイン規定
 - ①**決勝レース中トランスポンダー乗せ換えの為にピットイン規定時間は、「2分」とする。**2分の計測は、各チームが使用しているピット作業エリア内でマシンが停止し、ライダーが降車（両足を地面に着ける）した時点からコースインの為に車両が動き出すまでとする。尚、計測された時間が2分より短い場合は、ペナルティが課せられる。
※状況により、規定時間の計測方法を変更する場合がある。
 - ②**決勝レース中に最低2回（2分以上）のピットストップを行うこと。**最低2回のピットストップには、トランスポンダー乗せ換えの為にピットストップを含んでも良い。
- 5) 給油規定
 - ①トランスポンダーを搭載している車両の給油作業は禁止する。

3. 全グループ共通

- 1) ライダーのコースイン義務
決勝レースには、必ず登録された全てのライダーがコースインしなければならない。全てのライダーがコースインしていない場合はペナルティが科せられる。
- 2) ライダー交代
ピットインした場合は、必ず自己のピット前に停車時点で一旦エンジンを停止すること。
 - ①ライダー交代方法
 1. ライダー交代の場合は、メインスイッチを必ず切ること。
 2. ライダー交代のみの場合は、スタンド使用の義務は無い。
 - ②ライダー交代時の給油作業
 1. 停止と共にメインスイッチを切ること。
 2. リアスタンドを使用し車両を固定。
 3. ライダーが車両に跨ったままでの給油作業は禁止とする。
※給油作業・給油装置は、本特別規則書9. 1. 1) に準ずる。
- 3) ピット作業
 - ①ピットロード作業エリアにて作業ができる人数は、ライダーを含め4名までとし、チーム監督が責任を持って管理すること。
 - ②ピット作業は、自己のピット前の作業エリアでのみで行うこと。
 - ③ピット作業時以外は、ピットロードには出ず、安全確保に努めること。
 - ④サインエリア内に入れるピットクルーは各チーム2名までとする。
 - ⑤ピットエリア以外での補助及び車両に対する整備は他の援助を受けてはならない。
- 4) 技術委員長が、危険と判断した車両は出場できない。
- 5) レース中車両トラブル等でレスキューロードを使用してピットに戻った場合は競技結果から**2周減算**する。
- 6) 違反に対する罰則
国内競技規則第4章競技会 [35 裁定組織の構成・役割・権限] による。
 - ①大会中（競技中も含む）における国内競技規則または、本大会規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会の権限で下記の罰則を科すことがある。罰則は文章で該当者に通知される。

罰 則	内 容
訓 戒	文章による注意……始末書の提出の場合あり
罰 金	500,000円以下の罰金。
競技結果に影響する罰則	タイム/周回数の加算または減算。 順位の変更/ライドスルーペナルティ/ペナルティーストップ
失 格	競技会および競技結果の除外。

- ②上記罰則に加え、ライダー・ピットクルーまたはエントラントによる競技役員並びに大会関係者に対する暴力的な言動及び行動に対しても、ペナルティが科せられる。
 1. 訓戒：文章による注意……始末書の提出の場合あり
 2. 罰金：10,000円以上 50,000円以下
 3. 失格
- ③公式シグナル提示（提示区間）における違反には下記の罰則を適用する。
 1. 旗提示（提示区間）における危険行為（追い越し・転倒・コースアウトなど）罰金、レースタイム加算、予選タイム抹消、失格などの罰則が与えられる。罰則の決定は大会審査委員会が違反の内容により、裁量決定する。
 2. 危険行為を原因とする事故を起こした場合、失格及びライセンス停止（最低2ヶ月）を国内規律裁定委員会に上申する。但し、大会審査委員会は違反の内容を吟味し、減刑する場合がある。

4. 耐久レースの中断及び再スタート**レースの中断・終了**

- 1) 競技監督が、天候上の理由、あるいはその他の理由からレースの中断を決定した場合、赤旗を提示するか、セーフティーカーを導入する、のいずれかの方法によりレースを中断・終了することができる。
- 2) 何らかの理由により、スタートが大幅に遅れた場合や、レースの中断等によりレース終了予定時間が遅れた場合、規定時間を経過していない場合でもレースを終了する場合がある。

赤旗中断されたレースの再スタート

- 1) 赤旗が提示された場合は、全車最大限の注意をはらい走行しピットインし、戻ってきたライダーはオフィシャルの指示に従うこと。
- 2) 赤旗が提示された場合、レースの進行状況により、以下の3ケースに分けられる。
 - ①**トップを走行中のライダーが3周未満しか走行していない場合。**
 1. 当該レース自体は、無効とされ、再スタートが行われる。グリッドは、予選結果の通りとし、全ライダーがスタートできる。
 2. スタートしたレースで受けたペナルティは、再スタートしたレースに反映される場合がある。
 3. マシンのセッティング変更・部品交換など修理・給油ができる。
 - ②**トップを走行中のライダーが3周以上、しかし本来のレース距離（時間）の2/3（80分）未満の場合。**
 1. 前回のレースでリタイヤしていないチームのみ再スタートができる。
 2. 第2レースが開始される前に、第1レースの結果が公示される。
 3. 赤旗が提示された時点の車両を、第2レースのスタート車両とする。
 4. マシンのセッティング変更・部品交換などは禁止される。
 5. グリッドポジションは第1レースの結果に基づく。
 6. 計時システムは、赤旗中断中も止められず、レースの終了時間は当初のままとする。
 7. 競技結果は、第1レースの周回数と第2レースの周回数および、チェッカーを受けた順で、順位が決定する。
 - ③**トップを走行中のライダーが本来のレース距離（時間）の2/3（80分）以上の場合。**
 1. 当該レースは完了したとみなされ、終了となる。
- 3) 上記①・②の場合でも、競技監督の判断で、再レース（第2レース）が行われない場合がある。その場合は、第1レースの結果で順位が決定する。

10. シリーズポイントについて

今回の耐久レースでは、各クラスのシリーズポイントは、付与されない。

1 1. 本規則の解釈

本規則及び本競技会に関する公式通知や諸規則の解釈について疑義がある場合、参加者は文章により質疑申立てができる。質疑に対する解答は大会事務局または、競技会審査委員会の解釈・決定を最終的なものとし通告される。

付 則

1. スタート方法

- ①スタート方法は、ルマン式とする。
- ②スタート進行
 - 1) 20 分前：各チームはコースインゲートにてスタート前チェックを受け、マシンを押してオフィシャルの指示に従い、グリッドに着くこと。
 - 2) 5分前：マシンのグリッドへの入場が禁止される。この時点で、グリッドに着いていないマシンは、ピットスタートとなる。
 - 3) 3分前：スタートライダーと車両を支えるクルー以外は、コース上から退去し、ピットロード作業エリアまで下がること。これ以降、グリッドでの作業はできない。作業を続ける場合は、ピットに戻らなければならない。
 - 4) 1分前：カウントダウン開始。スタートライダーはグリーン上（スタンド前）に移動しスタートの合図を待つこと。車両を支えるクルーは車両後部を支えてスタートの合図を待つこと。
 - 5) スタート：スタート合図は、日章旗とし、スタート合図後スタートライダーはコースを横断し自分の車両に駆け寄りスタートする。
 - 6) エンジンは、スタートライダーが単独でキックもしくはセルスタートでエンジンを始動してスタートすること。押しがけ、他の協力を得て始動したチームにはペナルティが科せられる。
 - 7) 自力でスタートが不可能な場合は、全車両通過後オフィシャルの協力を得てスタートを試みることができる。尚、エンジンスタートに必要なキックペダル・セルスターターを装着していない車両は、ピットスタートとなる。

2. フルコースコーション&ペースカー介入

コース内の事故などの対応する為に、ペースカーを導入することがあります。コース内で救助作業等が生じた場合出動し、その場合ホワイトフラッグが提示される。

ペースカーは、回転灯を点けた状態で先頭車両の位置に関係なくコースインする。(追い越し禁止) 各ライダーは、ペースカーの後ろに一列縦隊で走行すること。

この時ピットインは自由ですが、ピットアウトの際は、ピットアウト信号もしくは、オフィシャルの指示に従いピットアウトすること。

3. コース内停止（転倒・車両トラブル）時の処理について

コース内で転倒・車両トラブル等により車両が停止した場合は、ライダーは必ずオフィシャルの指示に従って、行動すること。

コースに沿って車両を押してピットに戻る行為はせず、近くのガードレール沿いに車両を移動すること。

車両を押して戻る際は、必ずレスキューロードを使用すること。

また、自らレスキューロードを使用・レッカー車での回収に関わらず、レスキューロードを使用してピットに帰った場合は、競技結果から2周減算のペナルティを科す。

※レスキューロードを使用しパドック内へ戻ってきた車両については、ピットクルーが車両の移動を手伝うことができる。(レスキューロード内は禁止)

2018年9月16日より施行する。

2018年10月2日 一部変更。